



日本農芸化学会 2023 年度大会
協和発酵バイオ株式会社 スポンサーードセミナー

ヒトミルクオリゴ糖の開発と 食品機能素材としての展開

日時 3月14日(火) 12:00-12:50

場所 ミーティングルーム D プログラム番号: 1DL

司会 小川 澄 協和発酵バイオ株式会社 経営企画部

演者 渡邊 穂実 協和発酵バイオ株式会社 営業マーケティング部

ヒトミルクオリゴ糖 (Human Milk Oligosaccharides、以下HMOs) は母乳に含まれるオリゴ糖の総称で、2'-フコシルラクトース(2'-Fucosyllactose; 2'-FL)、3'-シアリルラクトース (3'-Sialyllactose; 3'-SL) 、6'-シアリルラクトース (6'-Sialyllactose; 6'-SL) など多くの種類が発見されている。乳糖と脂質に次いで3番目に多く含まれる成分であり、乳児の腸内細菌叢の形成を促すプレバイオティクスとして機能し、脳機能の発達や免疫システムにも関与することが報告されている。

一方でHMOsは母乳にしか存在せず、化学合成も難しかったことから、これまで粉ミルクには添加することができなかった。協和発酵バイオでは1990年代から製法研究に着手し、世界に先駆け微生物の代謝を用いたHMOsの工業的製法の開発に成功した。本セミナーでは、世界における HMOs市場の現状、および最新の機能性研究と今後の展望について、協和発酵バイオの取り組みも含めて紹介したい。

協和発酵バイオ株式会社

〒164-0001 東京都中野区中野 4-10-2 中野セントラルパークサウス

お問い合わせ: <http://www.kyowahakko-bio.co.jp/contact/>
研究開発に関するお問い合わせは右記のフォームよりお問合せください

